

ライオン家庭科学研究所 ○西田 敦  
石 英輔  
近藤 邦成

1. 糊料の種類によって糊付布の性能が異なるが、その正しい評価には反復テストを必要とする。今回は糊料の性能の中、特に反復着用テストに基づく防汚性・洗浄性・白度・再付着防止性および通気度等について比較検討した。

2. 試料としては澱粉・CMC・PVA・PVAcの四種類の代表的な糊料を選び、衿布法その他の天然污垢法による反復着用テストを試みた。なお、判定は機器測定と併行して官能法を採用した。

3. 反復着用試験の結果、防汚性と洗浄性についてはPVA系とCMC系がすぐれ、澱粉系・PVAc系は劣る。特にPVA系とPVAc系を比較した場合、PVAc系の污垢蓄積は反復回数と共に増大する。水不溶性糊料の一つの欠陥と考えられる。

各種糊料の中、PVA系の糊付布は白度向上効果が比較的大きい。この主因はPVAと繊維上の蛍光剤との相互作用に基づくと考える。

カーボンに対する再沈着防止効果は PVA 系が大であるが、天然汚垢については余り大きな差ではなかった。通気度については PVA 系の方が PVAc 系よりも良好である。この主因は繊維束に対する両者の挙動の差であることを顕微鏡観察により認められた。